

港の啓開や復旧に尽力した記録を映像で残す

第5回映像アーカイブ事業^{※1}の映写会及び認定証交付式を行います

東日本大震災後に大規模な津波によりガレキなどで覆われた港や被災した防波堤等の復旧に尽力した記録をアーカイブ事業として映像化しました。今回は(一社)日本埋立浚渫協会の依頼により、港の航路啓開と防波堤の復旧工事を映像化しました。

※1：映像アーカイブ事業とは、東日本大震災における記憶・記録の見える化の一環として、建設業の団体や企業、社員個人が所有している資料や写真、映像、証言などを編集し可視化するとともに、映像アーカイブとして認定し、貴重なレガシーとして残す事業です。

映像アーカイブ事業 映写会及び認定証交付式

1. 日時：令和4年12月1日(木) 11:00~12:00

2. 場所：NTT 東日本仙台青葉通ビル 1階 スマートイノベーションギャラリー
 仙台市青葉区一番町二丁目8番25号 (別紙参照) 認定作品：航路を啓け！
緊急物資と燃料を届けろ！

3. 開催概要

1) あいさつ

一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構 今村文彦代表理事

2) 映写会

○映像アーカイブ事業登録第008号認定作品

タイトル：「航路を啓け！緊急物資と燃料を届けろ！」

○映像アーカイブ事業登録第009号認定作品

タイトル：「津波から市民の命と財産を守るために
 ~釜石港湾口防波堤 災害復旧工事編~」

会社名：(一社) 日本埋立浚渫協会

3) 映像アーカイブ事業認定証交付式

(今村代表理事から受証者へ認定証を手交)

一般社団法人日本埋立浚渫協会 専務理事 村岡 猛 氏

一般社団法人日本埋立浚渫協会 東北支部長 谷川 純一 氏

4. 主催：(一財) 3.11 伝承ロード推進機構



認定作品：津波から市民の命と財産を守るために



〈発表記者會〉宮城県政記者会、東北電力記者会、建設専門紙



【本件に関する問い合わせ先】

(一財) 3.11 伝承ロード推進機構 原田、石森 TEL：022-393-4261

(別紙)

開催場所：NTT 東日本仙台青葉通ビル 1階 スマートイノベーションギャラリー

仙台市青葉区一番町二丁目8番25号

仙台駅西口から徒歩15分

仙台市地下鉄東西線 青葉通一番町駅から徒歩5分



出典：国土地理院ウェブサイト

<https://maps.gsi.go.jp/#16/38.258461/140.871184/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>